

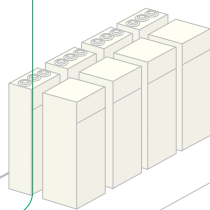
環境報告書 2004

KOSÉ Environmental Report 2004



CONTENTS

ごあいさつ	1
流通センターのISO14001チャレンジ	2
コーセーの環境マネジメントシステム	7
「環境基本方針」について	8
「環境行動指針」について	8
環境活動のあゆみ	9
コーセーの環境マネジメント	10
環境活動の組織体制	11
コーセーエコプラン2003	12
2003年度の活動報告	13
環境指標	14
環境に配慮した製品の開発	15
産業廃棄物の削減	19
省エネルギー	20
環境汚染の防止	21
狭山工場、群馬工場の環境負荷データ	22
物流段階の環境保全	23
オフィス部門でのエコ活動	24
社内における環境教育と啓発活動	25
その他の取り組み	26
環境会計	27



ごあいさつ

コーセーはグループ全体で企業価値を高める経営を継続的に実践していくために、中期経営計画を策定しています。コーセー独自のブランドマーケティングの強化、中国をはじめとする海外市場での積極的展開、経営効率の向上と収益力の強化等を計画の柱としていますが、この中期経営計画の中で、企業の社会的責任に対する取り組みも重要な経営課題のひとつとして掲げています。とりわけ法令遵守体制の構築、環境保全活動の推進、品質保証体制の強化という3つは現在最も力を注ぐべきテーマとしてとらえています。

法令遵守に関してはコンプライアンス委員会を設置して、体制の構築だけでなく社員ひとりひとりの意識向上にも努めています。環境保全活動については、1997年に地球環境委員会を設置して以来、環境基本方針や環境行動指針を制定し、全社を挙げた活動を継続して実施しています。品質保証体制は品質保証部が中心的役割を果たしますが、化粧品を安心してお使いいただくために商品そのものだけでなく、さらに幅広い次元での品質保証を目指しています。

このような様々な取り組みの中でも環境保全のための活動については、地球環境委員会が中心となって毎年度の活動目標を「コーセーエコプラン」として掲げ、組織的に展開しています。詳しくは本報告書をお読みいただきたいと思います。このような活動の積み重ねから2000年には群馬事業所がISO14001の認証を取得しました。その後、ISO14001による環境マネジメントシステムを順次各部門に拡大させ、2003年1月には狭山工場や狭山流通セン

ター、生産管理センターなど異なる5部門からなる狭山事業所が認証を取得しましたし、同じく2003年12月には全国の各流通センターと3つの関係会社の生産部門が拡大認証を取得しました。特に生産部門だけでなく、全国6ヵ所の物流拠点全てでISO14001の認証取得できましたことは、非常に意味のあることではないかと考えております。

コーセーは今後ともグループを挙げて環境保全活動をはじめ、企業として社会的責任を果たすための活動には積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

なお、今回の環境報告書は2003年4月から2004年3月までの活動の結果をまとめました。私たちの活動の全てをお伝えすることはできませんが、活動の一端をご理解いただくとともに率直なご感想を賜りたいと考えております。皆様のご意見を参考に今後の活動に生かしてまいりたいと思いますので、よろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。

2004年10月
株式会社コーセー
代表取締役社長 小林 保清

